

○教育長(銘苅 健)

皆さま、おはようございます。

令和8年度第4回教育委員会定例会を始めます。

会議の成立について、事務局の報告を求めます。

○教育総務課庶務係長(津覇 大輔)

報告いたします。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項により、5名中5名が出席しておりますので、本定例会が成立していることをご報告いたします。

○教育長(銘苅 健)

はい、ありがとうございます。

本定例会は成立しているとのことですので。

それでは会議順に従って進めてまいります。

次に会議録署名人の指名をします。

今回は、大兼奈月委員と宮城靖委員のお2人をお願いします。

○教育委員

はい。

○教育長(銘苅 健)

それでは議事に入ります。

本日の議事は3件となっています。

報告第5号については人事案件のため、秘密会といたしますので、それではよろしいでしょうか。

○教育委員

はい。

○教育長(銘苅 健)

それでは、報告第5号について浦添市教育委員会会議規則第6条1項の規定に基づき秘密会といたします。

それでは日程の通り進めてまいります。

まずは議題に入ります。

議案第3号「教育長の営利企業等の従事について」ということになります。

こちらについては私が当該者となりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第6項により、当事者は議事に参与することができませんので、教育長職務代理人へ議事進行をお願いしたいと思います、よろしいでしょうか。

○教育委員

はい。

○教育長(銘苅 健)

それでは宮城議員、お願いいたします。

○教育長職務代理人(宮城 靖)

はい、それでは私の方で議事を進めさせていただきます。

ただ今、教育長から当事者は議事に参与することができないとご説明がありましたが、同法第14条6項のただし書きの規定により、「教育委員会の同意があるときは、会議に出席し、発言することができる」とあります。

委員の皆さまにお諮りします。

銘苅教育長にこのままご出席いただいてもよろしいでしょうか。

○教育委員

はい。

○教育長職務代理人(宮城 靖)

それではこのまま会議を続けさせていただきます。

議案第 3 号「教育長の営利企業等の従事について」提案理由の説明を、新里教育部長にお願いします。

○教育部長(新里 優子)

議案書の 1 ページをお開きください。

議案第 3 号「教育長の営利企業等の従事について」。

提案理由は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 11 条第 7 項の規定に基づき、教育長の営利企業等の従事について、教育委員会の許可を受ける必要があるためでございます。

詳細につきましては、お手元の資料をご覧ください。

○教育長職務代理人(宮城 靖)

はい、ただ今議案第 3 号について説明がございましたが、ご意見やご質問等はございませんか。

それでは、議案第 3 号につきまして、承認としてよろしいでしょうか。

○教育委員

はい。

○教育長職務代理人(宮城 靖)

はい、ありがとうございます。

それでは議案第 3 号「教育長の営利企業等の従事について」は教育委員会として承認するものとします。

議案第 3 号について審議を終えましたので、議事進行について教育長へお返ししたいと思います。

よろしくお願いします。

○教育長(銘苅 健)

宮城委員ありがとうございました。

皆さんご承認ありがとうございました。

次に報告第 5 号について行います。

秘密会扱いとなりますので、本案件についての関係職員以外は退席してください。

あわせて、関係職員の入室を認めます。

事務局は資料の配布をお願いします。

～ 秘 密 会 ～

○教育長(銘苅 健)

それでは今回のこの報告第 5 号の報告、以上の通りでよろしいでしょうか。

○教育委員

はい。

○教育長(銘苅 健)

ありがとうございます。

それでは資料の回収をお願いします。

秘密会を解きます。

次に報告第 6 号「令和 8 年度浦添市教育委員会点検・評価報告」についての報告をお願いいたします。

西原課長。

○教育総務課長(西原 有美子)

点検・評価事業について報告いたします。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項の、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない、という規定に基づきまして、今年度も報告書を取りまとめました。

今年度も昨年同様実施した事業につきまして、有識者の方から評価を頂いております。

お手元の議案書 14 ページをご覧ください。

教育委員の活動自己評価のページとなりますが、先日委員の皆さまにも相談させていただいた内容が反映されております。

ご確認いただけたらと思います。

それから、次のページになります。

議案書 15 ページをご覧ください。

事業執行課の自己評価一覧となります。

全部で 12 事業、総合評価は全て A となっております。

今年度は有識者として、平良亮様、松川章様、森田牧子様に、ご評価いただきました。

具体的には 16 ページから 35 ページまで、各事業に対するご意見が掲載されております。

今年度も様々なご指摘や評価をいただきました。

また、36 ページ以降は資料としまして、教育委員会会議における議案等一覧。

それから教育委員、教育長それぞれの活動状況を掲載してございます。

最後に、議案書 49 ページになりますが、あとがき、点検・評価を終えてでございます。

今年度は宮城委員からいただきました。

ありがとうございました。

なお、今後の予定ですが、この報告書を 9 月市議会で報告する予定です。

その後市のホームページに掲載いたします。

報告は以上となります。

○教育長(銘苅 健)

はい、ありがとうございます。

ただ今報告第 6 号ですね、令和 8 年度浦添市教育委員会点検・評価報告についての説明がありましたけれども、この説明に対して委員の皆さん何かご質問等ありましたらお願いいたします。

12 項目についてですね、それぞれ有識者の方 3 名の方から、評価をいただいています。

その件について委員の皆さんから何かありましたら、ご意見でも結構です。

お願いいたします。

まずは社会教育分野から見ていきましょうか。

1 番から 4 番まであります。

社会教育分野の 4 項目について評価が出ています。

地域学校協働活動推進事業、放課後子ども教室推進事業、中央公民館運営事業、図書館運営事業ということで、4 項目ございます。

○教育委員(下地 イツ子)

よろしいですか。

○教育長(銘苅 健)

下地委員どうぞ。

○教育委員(下地 イツ子)

感想といいますか、今月の市の会報の中にも中央公民館が大きく取り上げられていて、新しい形での取り組みというところがとても興味深く載せられていたのと、この社会教育というところで、中央公民館の21ページのところの有識者の意見の中でも、ハコの制約を逆に味方に付けというところが、新しい動き方というところで、いいのかなと私はとても感じました。

感想でした。

○教育長(銘苅 健)

ありがとうございます。

それでは今度は文化芸術分野ですね。

5・6・7 までですね、3 項目。

5 番、浦添市内遺跡発掘調査事業。

そして 6 番の史跡浦添城跡保存整備事業。

そして 7 番、悠々ロマン漆に会うまち浦添推進事業ということで、3 つの事業に対する評価が出ております。

発掘に関しても、5 日かな、港川の方の歴史にふれる館の方で、発掘の成果展示をまた今からやりますので、夏休みに子どもたちに、案内をして、発掘した成果、こんなものが出てきたよと展示するというので、今年度公開の案内をしていますね。

発掘はしているのだけれども、どうなっているかということが今まで見えなかったのですけれども、それを見えるような形にしようということで、発掘の成果を、歴史にふれる館で出しているということで、今年度もさらにバージョンアップして、見えるような形で成果を出そうということですね。

はい、宮城委員。

○教育委員(宮城 靖)

発掘というところで今教育長が言われたように、特に小学校に案内を出して、今やっているから見てくださいねということをやっているのですけれども、今日の会議の教育長の報告の中でも浦添城跡を世界遺産にするというところでいうと、もっと教育委員会が後ろ楯となって押さえていく、小学校何年生を対象にして、授業の一環として見せるというような形に持っていったら、案内をして全く関心のない子は見ないという部分のものが、少しステップアップするのではないかな。

来年度すぐということはできないと思いますが、ワンステップ上げたような、学校から連れていく時間、バスを教育委員会で借りてあげるといったような予算立てをすると、子どもたちも見er機会が増えるのかなと。

これからは少しずれていきますけれども、もう少し、親が連れていくのではなくて学校から連れていく、社会見学という形の捉え方で、自然教室でバスを学校に全部配置していますよね、予算は取っていますよね、そのような形で市内への社会見学という方向でまずは遺跡発掘現場を見ようとか、ということもいいのではないかな。

私たちが 3 年前に市内を回った時に、もう 60 年余りも浦添市に住んでいるのだけれども、初めて見る遺跡があったり、えっこんな所にこんなものがあったのということがあったりと、こんなに大人になってもそれを感じるの、子どもたちに見てねと言うのと、見に行こうねと連れて行くのでは捉え方が全然違ってくるので、すぐじゃなくても進めていったら、いつかはそれが実現しないかなと。

今年じゃなくて、来年、再来年と準備を進めて行けば、子どもたちがもっと浦添市の文化に関心を寄せるようになって感じますので、少し外れましたが、よろしくお願いします。

○教育長(銘苅 健)

今のご意見の中で、ふるさと学習というのが入っていますので、そのふるさと学習とまたタイアップするような形もね、いいのかなと。

例えばもうバスは1日借りられているので、コースの中で、これとこれを見ましょうねと。今、課題としては、浦添グスクとようどれを見くださいねというのが、必ずその課題に入っているのも、もっとこういったものも見た方がいいというものがあれば、その中にメニューとして入れていきたいと思いますということで、学校に示すこともできるかなと思いますので、その辺はまた指導部との検討をよろしくお願いいたします。

○教育委員(下地 イツ子)

私もよろしいですか

○教育長(銘苅 健)

はい、下地委員どうぞ。

○教育委員(下地 イツ子)

私的な感想ですけれども、私も今、宮城委員のお話を聞きながら、自分も自治会の活動をいろいろしていますけれども、住んでいる地域のみならず、市内のいろんな歴史的な文化のところを回るといふところの、何か足元が欠落していたなというのを今聞きながら思っていて、自治会が老人会とやんばるにさくらを見に行こうとか、つつじを見に行こうという計画の中はあるのですが、バスを借りてとか。

そこまでわざわざ行かなくても近くにこんなおもしろいものが見られるというところでは、私の周りでは、私が力説して近くに乗り合いで見に行きませんかという声掛けをしたいなと思ったのですけれども。

自治会長会でも何かそういったアピールができれば、そこから子ども会とかに広がって、大人も子どもも市内にこういう面白いものがある、私たちの市にはこういう誇れるものがあるということを、知るきっかけになればいいなという、私の感想でした。

○教育長(銘苅 健)

ありがとうございます。

実は去年の校長会で、私の方から中学校区のそれぞれの史跡とか、井戸とかそういったものを全部作ったものを、各学校長に全部資料としては渡してはいるのですが、それが活用されていることはまだ確認まではしてないのだけでも、いろんな形で校長会を通じてこういったのがあるよということで、その辺はですね、今下地委員からあったような形で、これからやっていかないといけないなということはとても感じますね。

ありがとうございました。

では文化芸術分野はよろしいでしょうか。

では次は学校教育分野の方にいきましょうね。

学力向上対策事業、そして外国語指導事業、こどもが主体的に学習するための ICT 機器整備事業、課題を抱える児童生徒支援事業、そして学校給食費補助金交付事業ということで5項目挙げてありますけれども、この中で委員の方から今みたいな形で、ご意見、とてもいいと思います。

そういった形でご意見いただければ、あるいはまた、疑問をいただければ、わかる部分については回答してもらいましょう。

初鹿野委員お願いします。

○教育委員(初鹿野 修)

感想ですけれども、外国語やはり95%も役立つと言っていること、すごいなと思って、また有識者の意見にも好きというところとの格差、75%が、ここがやはり増えて欲しい部分

ですよ。

20 年前に私は浦添小で、この研究開発校で、英語のわからない英語の主任というのをやったのですよ。

その時に教員もわからない、子どももわからない、その中でどうするのっていう状況だったのが、これを見て 95%まで溜まっているということはすごいなと思いました。

なので、より、私が英語主任だった時よりさらに好きになっていただけると嬉しいなと、年寄りが感じました。

それからもう 1 つ課題の不登校のところなのですが、最初の教育長の話に減少しているということがあったので、今もう全国的にどこもかしこも増えているのが普通なのですが、減少していると、ここはやはりしっかり読みますと見立てと、それから支援、この連携がしっかりしているのだなというふうに思いました。

それぞれの支援、教室というものが、きちんと運営されていると感じております。

やはり今後も、不登校に対応することはなかなかだと思います。

しかしこういう地道な努力が、学校が楽しいなと、そしてさっきの話とリンクすれば、浦添市ってこんな遺跡もあって楽しいなって学校の勉強だけじゃない、もっとっていうところに子どもの目が向けば、不登校もそういう意味でまた教育の全体として考えるといいのだろうなということを感じました。

以上です。

○教育長(銘苅 健)

ありがとうございます。

はい下地委員。

○教育委員(下地 イツ子)

30 ページのところに今後の方向で、市内の 5 中学校とフィリピンの中学校とのオンライン交流会が開始されると書かれていますが、これはフィリピンと定めたのは何か理由があるのでしょうか。

○教育長(銘苅 健)

照屋指導監。

○学校教育課指導監(照屋 茂伸)

AET の中にフィリピンから来られている方がいらっやいまして、フィリピンで校長先生をやっていた方でして、その方との連携でフィリピンと沖縄でオンライン交流をしたいということがありまして、そこで今回各中学校で行うこととなります。

○教育委員(下地 イツ子)

ありがとうございます。

○教育長(銘苅 健)

補足ですけどフィリピンの教育機関とも、ここで言う教育委員会のようなところと対応できるということで。

ただ 1 校と偶然に行うのではなくて、そこの方の教育機関とはまたこっちがやるという形で、持って行けば継続できるかなと見ているところですね。

○教育委員(下地 イツ子)

強みですね、その先生がいらっやることで広がりが。

○教育委員(宮城 靖)

公用語が英語という兼ね合いなのですか。

それもありますか。

○学校教育課指導監(照屋 茂伸)

それもあります。

夏休み明けの 8 月に浦添中学校、第一回がスタートします。

○教育長(銘苅 健)

宮城委員。

○教育委員(宮城 靖)

先ほど初鹿野委員からもありましたけれども、私も生徒指導を長年やっていましたので、この不登校の減少ということは非常に嬉しく思っております。

年間全国で 35 万人いるのですよ、不登校、どんどん増えていく。

もしかしたら年間 2 万人ずつ増えていくのではないかと、40 万人もすぐそこだよっていうふうなことが言われているのです。

だからどこでも不登校が増えていくという傾向の中で、意外と沖縄県の中で浦添市は、パーセンテージで見ると 5 本の指に入る。

そこがちょっと、足が止まったっていうところは非常に嬉しいなということを感じています。

また逆にちょっと寂しいなと思っているところは、各種検定の補助金、補助が少し、補助をもらっている人たちが減ったということですかね。

裏付け的に補助金が減少傾向でもある所も感じているのですけれども。

もっともっと補助金をあげて、たくさん子ども達にチャンスを作ってあげるところだったり、あるいは学校が中心になって実施していた検定制度から、それが外れて PTA がとか、地域がというふうになってきましたよね。

その部分が減少に繋がっているのかなとは思いますが、各学校にアピールをして、どんどん申請を受けてもらいなさいというようなことも必要なのかなとは思っています。

これ、補助金は 100%使っていますか。

不足しているのか、それはわかりません。

これは 10 年ちょっと前から始まっているのですよね、この半額補助金というのは。

スタートした頃は結構潤沢にあって、たくさん子どもたちが 2 回挑戦する 3 回挑戦するということからちょっと予算逼迫して、年 1 回だけねというふうなところに減ってきて、2 年後ぐらいには、その予算の全体的な部分が 75%ぐらいに減っていったというふうな経緯があるので、すけれども。

その辺りでぜひ、与えられた予算は全部使おうというような形で学校に、たくさん検定試験を受けるというふうな、チャンスをもらう子どもたちを増やしてもらいたいと思います。

学校の中で実施しなくても、検定をやっているよということは学校でコマーシャルできるので、そこは学校の方でお願いね、というふうな形にできないかなと、ぜひ増やしていって欲しいですね。

○教育長(銘苅 健)

赤嶺課長。

○学校教育課長(赤嶺 エリナ)

これまで公立学校を対象としていたものを、浦添市に住んでいる生徒を対象ということで、申請の窓口というものを拡大していますので、その点例えば県立に通っている子であったり私立を含めてですね、対象生徒が増えていますので、8 年度に関しては、申請はこれからになってくるのですけれども、申請者増は見込めるのかなと想定しております。

○教育委員(宮城 靖)

学校でまとめて申請していたものが、個人申請でやっていくというところかというと、少し申請者が少し減るのかなと思うのですよ。

その辺のアナウンスはやっぱり学校の方でやらないと、みんなに浸透しない、しにくいとい

う部分。

教育委員会のホームページに、市のホームページに載っているからわかるよねっていうところではなくて、やっぱり広報活動を学校の方で、学校ではやらないけど申請したら半額補助もらえるよ、というような形でやっていったら、半額補助金全部使えるのではないかなと思うので、教育委員会として学校に声かけするということも必要なのかなと思っています。

○教育長(銘苅 健)

照屋指導監。

○学校教育課指導監(照屋 茂伸)

先ほど宮城委員からあったように、学校の方で検定試験を見直していくところが、実は沖縄県からも業務改善プランで検定業務見直しというところがありますので、それで検定を行わない学校が、そういうところがありはしたのですけれども、今、補助をもらう手続きが先生方も少し負担というところがありましたので、今年度からオンライン申請に変えています。

ただおっしゃるように周知をもう少しというところはありますので、学校の方には私から周知しますけれども、保護者へしっかり伝えるように学校に伝えます。

○教育長(銘苅 健)

文科省は中学卒業までに3級程度を50%というのが数値的に打ち出されているので、それから考えると、やっぱりもっと子どもたちに積極的にそういった、検定を受けようというような周知を図るということを、やる必要があるのかなという感じがしますね。よろしくお願いします。

他に学校教育に関して何かありますか。給食費もありますね。

大丈夫でしょうか。

○教育委員(宮城 靖)

3名の有識者の先生方に非常に感謝しているというか、これを書くのは大変なんですよ。特に平良亮先生は5つの項目について評価されている。

これを書くだけでいろんなことを調べながら助言していくので、大変だなと思っています、非常にありがたいなと思っています。

こんなにいっぱい書いてくれてありがたいなと思っています。

○教育長(銘苅 健)

ありがたいよね、こうしてやってくれて。

それでは点検・評価報告に関しては以上ということでよろしいでしょうか。

○教育委員

はい。

○教育長(銘苅 健)

ありがとうございます。

今回ですね、このような形で点検・評価報告、松田さんに一生懸命頑張っていただいて、このような形でまた冊子として、9月の定例会の議会にまた報告させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

はい、それではですね本日の議事は以上となります。

その他報告とか、課長ありますか。

○教育総務課長(西原 有美子)

大丈夫です。

○教育長(銘苅 健)

はい、お諮りします。

定例会で議決された件に係る字句、数字、その他の整理を要するものについては、教育長に委任することとしてよろしいでしょうか。

○教育委員

はい。

○教育長(銘苅 健)

ご異議なしと認めます。

よって、字句、数字、その他の整理は、教育長に委任することに決定いたしました。

それでは以上をもちまして、令和 8 年度第 4 回教育委員会定例会を閉会いたします。

お疲れ様でした。